

ICANNアドレス支持組織(ASO)報告

~ IPv4アドレス枯渇に関する議論 ~

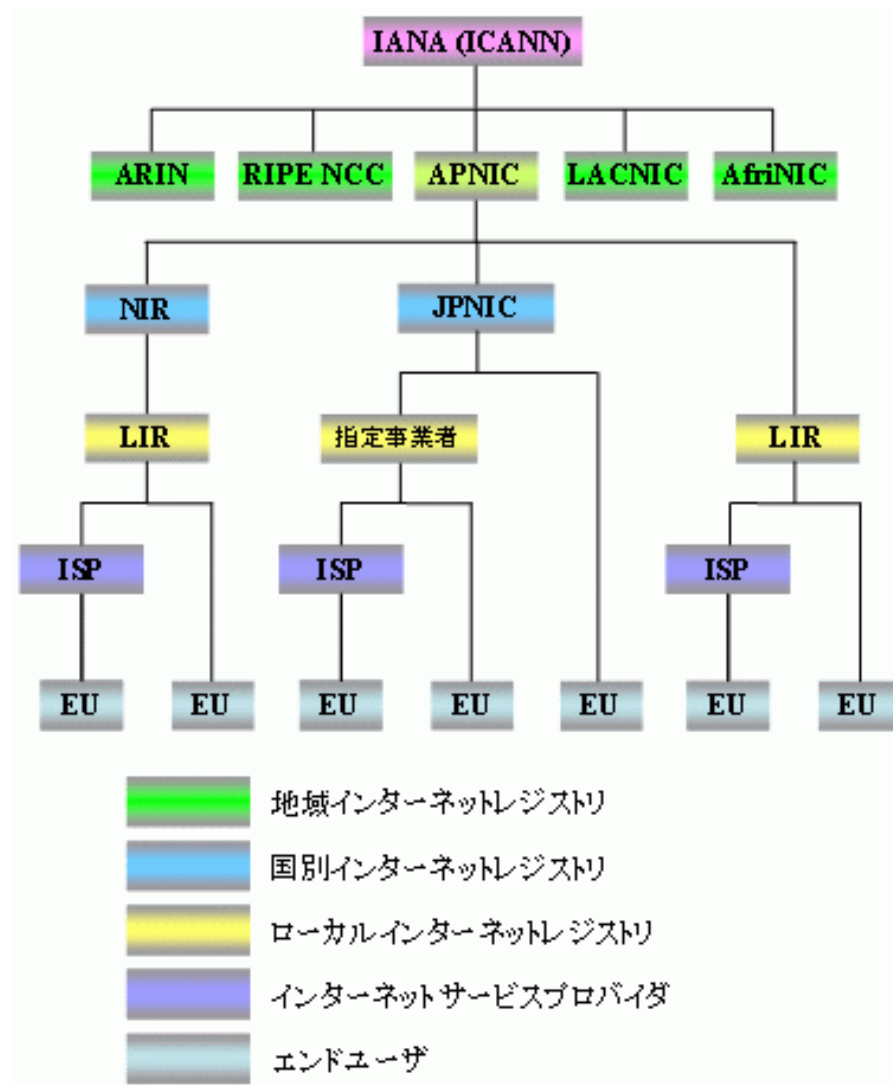
穂坂 俊之 <hosaka@nic.ad.jp>
(社)日本ネットワークインフォメーションセンター



ASOの現状



IPアドレスの管理構造





アドレス支持組織(ASO)とは

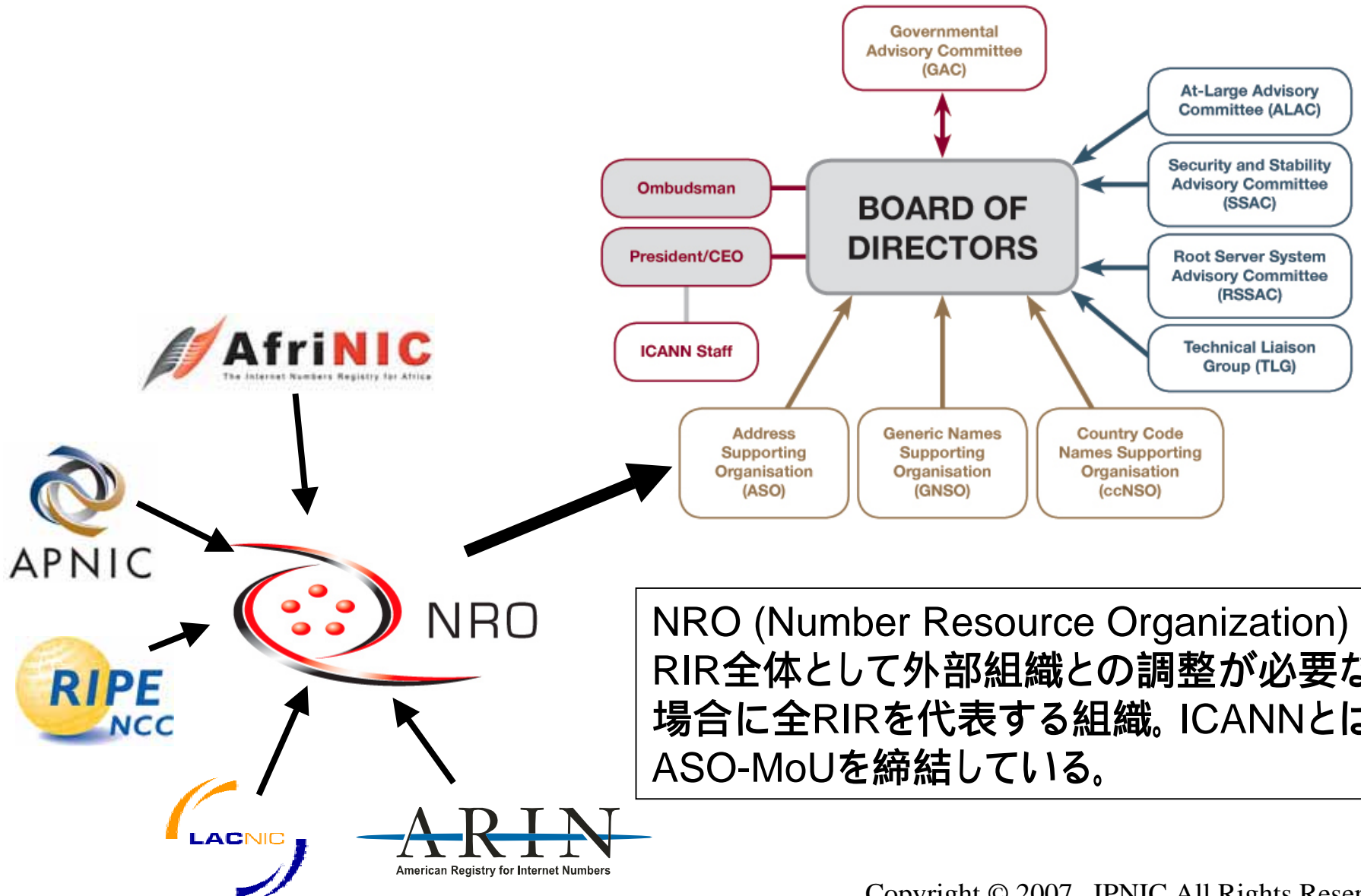
- 役割

- IANA-RIR (地域インターネットレジストリ)間のIPアドレスポリシー (= グローバルポリシー)の策定に関し、ICANN理事会に対して助言、勧告を行う
 - ISPやエンドユーザのレベルで従うべきIPアドレスの管理ルールの策定は、RIR (APNIC等)で行われる
- ICANN理事の選出(ASO選出枠:2)を行う

- 構成

- 各RIRから3人ずつ、合計15名で評議会(AC = Advisory Council)を構成
- 毎月1回の電話会議+年2回のオンサイトミーティング
 - APNICからはKenny Huang (台湾)、HJ Kwon (韓国)、穂坂 (日本)の3名
 - 議事録: <http://aso.icann.org/meetings/index.html>

相関図



ASOで現在検討中の課題 (1/2)

- 現在検討中のグローバルIPアドレスポリシーは無い
 - IPv4アドレスグローバルポリシー：2005年2月承認
 - IPv6アドレスグローバルポリシー：2006年9月承認
 - 上記で一段落
- ASO枠のICANN理事候補者の検討(1枠)
 - ASO選出の現職ICANN理事Raimundo Beca氏の任期満了(2007年6月)に伴う検討
 - 候補者8名の中から4人をリスボン会議で面接
 - Raimund Beca(チリ), Kuo-Wei Wu(台湾), Jordi Palet(スペイン), Remco Van Mook(オランダ)
 - 2007年5月に選出プロセスを終える予定

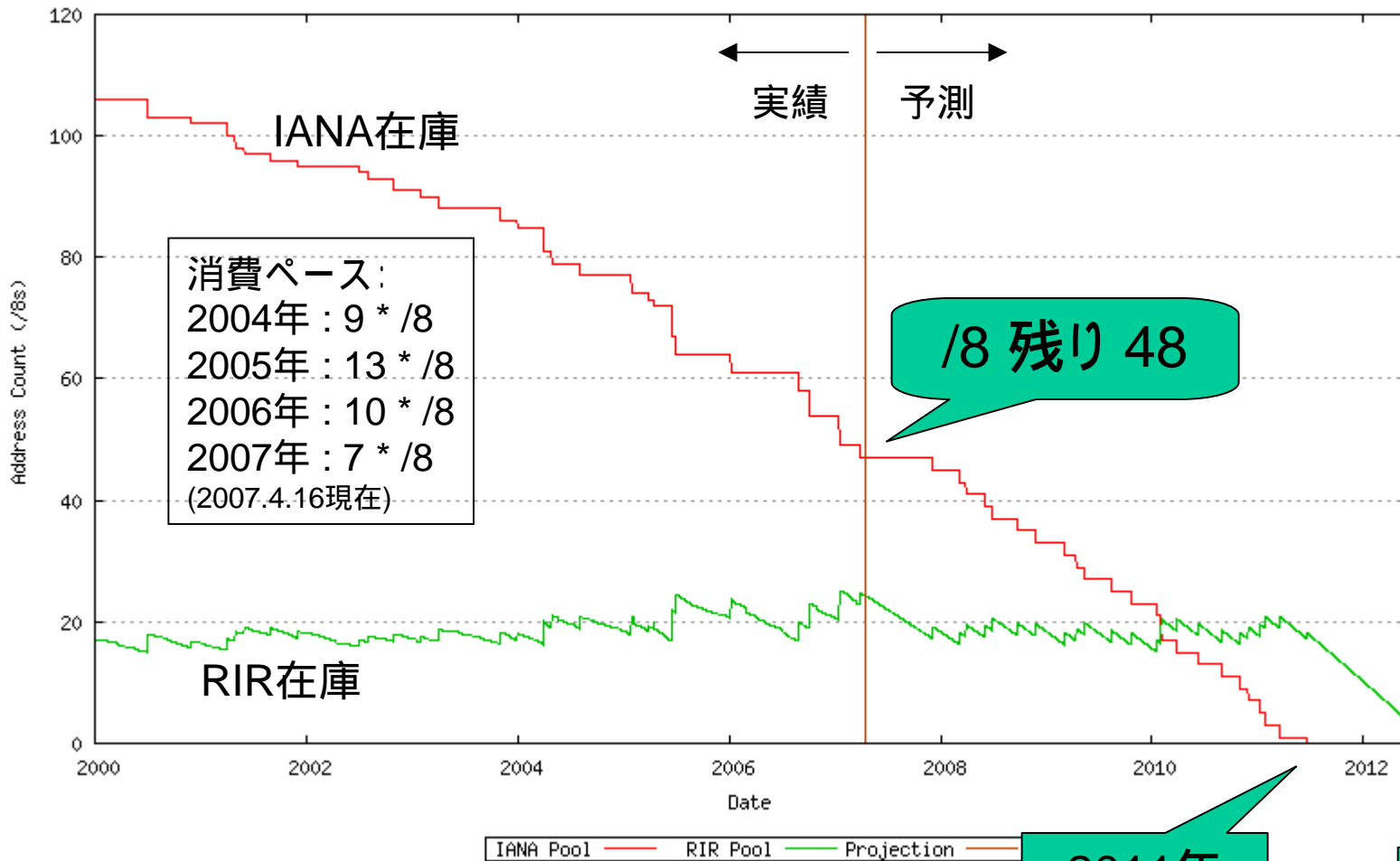
ASOで現在検討中の課題 (2/2)

- ASO活動のアウトリーチについて
 - ASOワークショップの開催
 - GACとの連携
- IPv4アドレスの枯渇に関する議論
 - IPv4アドレスの消費状況の説明、情報共有
 - APNIC/ARINに提出されたポリシー提案の紹介
 - IPv6への移行に関する議論

IPv4アドレス枯渇に 関する議論

~ ASOワークショップでの議論から ~

IANA/RIR在庫の状況



出典 : Geoff Huston – APNIC – www.potaroo.net/tools/ipv4/

RIRでのポリシー議論

- IPv4アドレス枯渇に対応するポリシーの提案が(JPNICから)APNIC/ARINへ提出され、議論中 (“IPv4 countdown policy”)

概ね合意
を得た

- 延命目的のポリシー変更は行わない
- 全世界同時に枯渇ポリシーの対応を進める
- 分配済みのアドレス回収は別途議論する

- 枯渇時期予測を基にIPv4アドレス割り振りの終了日を定め、事前に告知する

合意に
至らず

- IANAの/8在庫が30を切った日から2年後を割り振り終了日と定め、コミュニティへ告知する



ASOワークショップでの議論

- IPv4アドレスの在庫が無くなった時どうするか検討する必要があるとの指摘がなされた
 - IPアドレスの市場取引を認めるか?
 - RIRはどのような役割を果たすべきか?
 - IPv6へいかに移行させるか?
 - ISP間の公平性をいかに担保するか?
- RIR側からは、IPv6に関するトレーニングの実施、IPv4アドレスの消費状況に関する情報提供、使用していないIPv4アドレスの回収などが今のところ対応として考えられるとの意見
 - JPNICも既に行ったポリシー提案をベースに国内、海外各地域での情報共有、さらなる検討を行う予定

世界規模での議論は始まったばかり



参考URL

- ICANN ASO
 - <http://aso.icann.org/>
- NRO (Number Resource Organization)
 - <http://www.nro.net/>
- IPv4 countdown policy proposal
 - <http://www.apnic.net/docs/policy/proposals/prop-046-v001.html>